

経営比較分析表

山形県 戸沢村

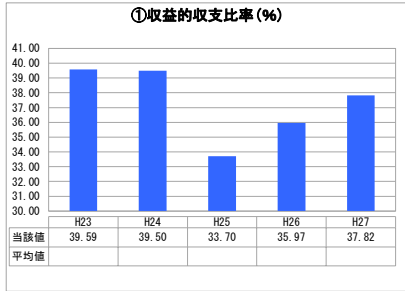
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	42.05	90.00	3,040

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,970	261.31	19.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,071	1.96	1,056.63

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



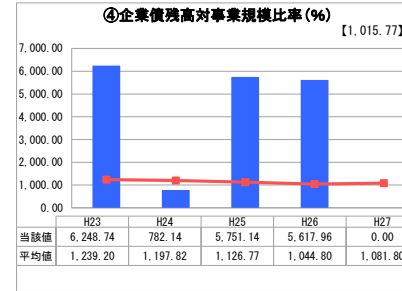
「単年度の収支」



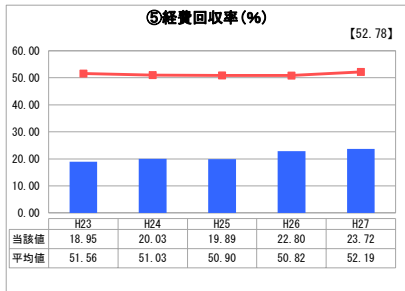
「累積欠損」



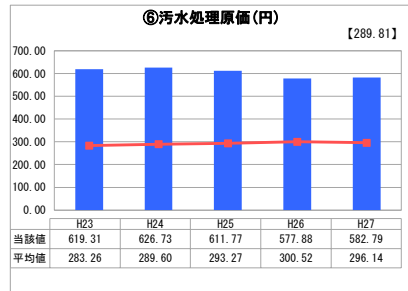
「支払能力」



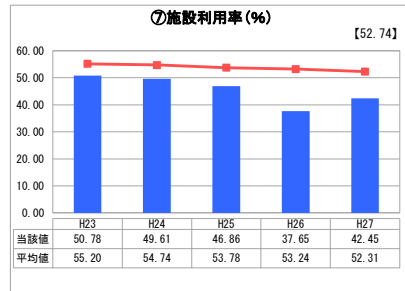
「債務残高」



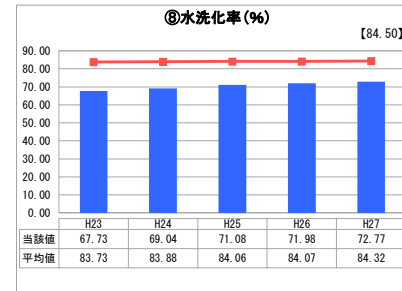
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

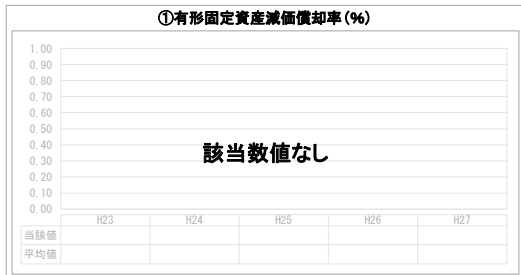


「施設の効率性」

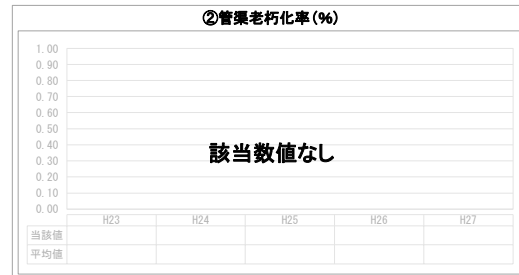


「使用料対象の捕捉」

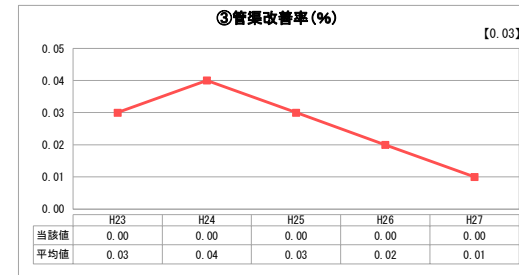
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ・料金算定について
 減額型料金方式となっており使用量の増加につれ従量料金が低額となる。接続人口が少ないことから、料金収入だけをもって維持管理経費を賄うには至っていない。(H27年実績で使用料収入が歳入に占める割合は14.5%となっている。)
- ・企業債残高対事業規模比率について
 建設事業については概成しており、新たな企業債の発行は無く、当初事業費に充てた企業債の償還分となっている。(H27年度末企業債償還残高812,889千円)
- ・経費回収率、汚水処理原価、施設利用率について
 接続人口が1,507人と少なく、施設利用率も高くはない。維持管理経費については、利用率に関わらず5~600円で推移している。経費回収率についても1/4程度と低い数値となっている。
- ・水洗化率について
 率としては僅かに向上しているものの余地はあり、今後とも水洗化率の向上を図っていく。

2. 老朽化の状況について

- ・現在のところ耐用年数を経過した管渠についてははないが、今後の課題として管渠の老朽化対策が必要になってくると考えられる。ストックマネジメント、長寿命化計画等を検討し計画的にライフサイクルコストの低減を図り段階をおって財源の確保の準備をしていく。

全体総括

引き続き人口減少に加えて、施設利用率の向上には期待の持たせ、使用料金収入だけでは、到底維持管理もままならず、一般会計繰入金により維持運営している状況にある。(歳入に占める繰入金の割合は51.4%) また、企業債の償還財源として資本費平準化債の借入を起している。(歳入に占める平準化債の割合は33.8%)
 今後の管渠の老朽化対策については、新規接続時の加入金を積立し将来に備えることとしている。指定管理者制度あるいは包括的委託の導入については、財政基盤等を考慮するにおいては、現状馴染まない判断している。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。